



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドバネクス  
コード番号 5998 URL <http://www.advanex.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 柴野 恒雄  
(氏名) 大野 俊也

TEL 03-3822-5865

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	21,904	7.3	769	17.4	801	14.0	589	△4.0
26年3月期第3四半期	20,406	16.3	655	103.5	703	117.3	614	85.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,120百万円 (54.0%) 26年3月期第3四半期 1,376百万円 (107.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	14.25	14.16
26年3月期第3四半期	14.81	14.77

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	23,793	7,894	29.3	168.59
26年3月期	20,240	4,741	23.4	114.04

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,975百万円 26年3月期 4,728百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	3.3	1,000	21.9	980	19.4	740	8.4	17.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	41,533,708 株	26年3月期	41,533,708 株
27年3月期3Q	158,654 株	26年3月期	73,738 株
27年3月期3Q	41,414,668 株	26年3月期3Q	41,481,570 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、海外では、中国などの新興国の経済成長が鈍化しましたが、米国の景気回復と欧州経済の持ち直しにより、堅調に推移しました。国内では、消費増税後の景気回復のもたつきがあったものの、輸出産業では米国需要が好調だったことから景況感が回復しました。こうした中で、当社が関連する分野では、自動車市場において、国内需要は停滞しているものの、米国や中国において需要が好調でした。当社におきましても、自動車向けの売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比7.3%増の219億4百万円となり、営業利益は同17.4%増の7億69百万円、経常利益は同14.0%増の8億1百万円となりました。四半期純利益は、税金費用の増加や関係会社株式の売却に伴う少数株主利益の増加等により4.0%減の5億89百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、ヒンジ事業につきましては、重要性が低下したため、第1四半期より精密ばね事業に統合いたしました。前年同四半期との比較は、精密ばね事業とヒンジ事業を統合したベースで行なっております。

#### [精密ばね事業]

国内は、船橋電子株式会社の子会社化により売上高は増加したものの、販管費の増加等により利益が減少しました。海外では、米国、中国等において自動車向けの売上高が増加したほか、英国において医療機器向けの売上が増加したことから、増益となりました。これらの結果、売上高は前年同四半期比12.0%増の130億36百万円、セグメント利益は同58.2%増の5億44百万円となりました。

#### [プラスチック事業]

中国やベトナムで自動車向けの売上高が増加したものの、マレーシアでAV機器向けの売上高が大幅に減少しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比1.2%増の88億68百万円となり、セグメント利益は同28.5%減の2億19百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ35億52百万円増加し、237億93百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が25億97百万円増加し143億68百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が10億69百万円、棚卸資産が6億55百万円、売上高の増加により受取手形及び売掛金が7億68百万円それぞれ増加しました。また、固定資産合計額は9億54百万円増加し94億24百万円となりました。設備投資の増加により有形固定資産が5億32百万円、無形固定資産が1億71百万円及び投資その他の資産が2億50百万円増加しました。

負債の部においては、負債合計額は158億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億99百万円増加しました。主な理由は、支払手形及び買掛金が3億97百万円増加したことによります。

純資産の部においては、純資産合計額が78億94百万円となり、前連結会計年度末と比べ31億52百万円増加しました。主な理由は、当第3四半期連結累計期間において5億89百万円の四半期純利益が発生したこと、円安の影響により為替換算調整勘定のマイナス残高が10億28百万円減少しプラス残高になったこと、第一化成ホールディングス株式会社の株式を一部売却したことにより少数株主持分が8億92百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年11月7日に公表しました予想数値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しております。また、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が4億66百万円減少し、利益剰余金が4億66百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,808,309	3,877,751
受取手形及び売掛金	5,784,683	6,552,711
商品及び製品	1,147,877	1,495,096
仕掛品	655,105	702,452
原材料及び貯蔵品	1,013,705	1,275,040
繰延税金資産	9,669	8,566
その他	361,565	468,428
貸倒引当金	△10,121	△11,389
流動資産合計	11,770,794	14,368,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,709,867	1,741,870
機械装置及び運搬具(純額)	2,521,924	2,830,985
土地	2,226,123	2,013,847
その他(純額)	774,636	1,178,194
有形固定資産合計	7,232,551	7,764,898
無形固定資産	191,840	363,198
投資その他の資産	1,045,386	1,296,276
固定資産合計	8,469,778	9,424,374
資産合計	20,240,572	23,793,032
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,779,697	4,177,534
短期借入金	1,833,555	907,274
1年内返済予定の長期借入金	1,610,633	1,921,322
未払法人税等	201,464	189,165
賞与引当金	183,369	73,713
その他	1,283,889	1,749,799
流動負債合計	8,892,609	9,018,810
固定負債		
長期借入金	3,453,594	4,040,923
繰延税金負債	357,814	403,986
役員退職慰労引当金	—	1,425
環境対策引当金	4,506	4,506
退職給付に係る負債	2,429,515	2,081,607
資産除去債務	38,773	39,105
その他	322,671	308,663
固定負債合計	6,606,875	6,880,218
負債合計	15,499,484	15,899,029

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	256,717	256,811
利益剰余金	4,323,114	5,296,522
自己株式	△8,278	△23,199
株主資本合計	5,571,553	6,530,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,418	97,939
為替換算調整勘定	△353,561	674,902
退職給付に係る調整累計額	△548,138	△327,547
その他の包括利益累計額合計	△843,281	445,294
新株予約権	12,815	26,005
少数株主持分	—	892,568
純資産合計	4,741,088	7,894,003
負債純資産合計	20,240,572	23,793,032

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	20,406,684	21,904,814
売上原価	16,028,761	16,986,441
売上総利益	4,377,923	4,918,373
販売費及び一般管理費	3,722,731	4,148,923
営業利益	655,192	769,450
営業外収益		
受取利息	9,237	14,369
受取賃貸料	84,084	95,367
為替差益	192,954	236,671
その他	39,633	87,502
営業外収益合計	325,910	433,911
営業外費用		
支払利息	141,774	116,548
持分法による投資損失	68,209	172,173
その他	67,521	112,748
営業外費用合計	277,505	401,470
経常利益	703,597	801,890
特別利益		
固定資産売却益	4,683	973
関係会社株式売却益	—	154,623
新株予約権戻入益	16,640	—
その他	10,727	20
特別利益合計	32,051	155,617
特別損失		
固定資産売却損	—	1,585
固定資産処分損	7,180	3,570
事業再編損	—	37,050
その他	29,148	182
特別損失合計	36,328	42,388
税金等調整前四半期純利益	699,319	915,119
法人税、住民税及び事業税	107,463	184,390
法人税等調整額	△22,510	7,972
法人税等合計	84,952	192,362
少数株主損益調整前四半期純利益	614,367	722,756
少数株主利益	—	132,769
四半期純利益	614,367	589,987

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	614,367	722,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,462	42,586
為替換算調整勘定	691,876	1,109,136
退職給付に係る調整額	—	229,316
持分法適用会社に対する持分相当額	24,095	16,812
その他の包括利益合計	762,435	1,397,851
四半期包括利益	1,376,802	2,120,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,376,802	1,878,563
少数株主に係る四半期包括利益	—	242,044

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	精密ばね事業	プラスチック事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	11,641,511	8,765,173	20,406,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	65,095	5,863	70,959
計	11,706,606	8,771,037	20,477,643
セグメント利益	344,252	307,664	651,916

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	651,916
セグメント間取引消去	3,275
四半期連結損益計算書の営業利益	655,192

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精密ばね事業	プラスチック事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	13,036,267	8,868,547	21,904,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55,484	27,330	82,815
計	13,091,752	8,895,878	21,987,630
セグメント利益	544,652	219,887	764,540

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	764,540
セグメント間取引消去	4,909
四半期連結損益計算書の営業利益	769,450

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。前連結会計年度までは、精密ばね事業、プラスチック事業、ヒンジ事業で記載していましたが、主として、ヒンジ事業を行っていた当社の子会社株式会社アドバネクスモーションデザインの実業縮小が完了し、ヒンジ事業としての重要性が低下したために、ヒンジ事業区分を精密ばね事業区分と統合いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

また、会計方針変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更により、セグメント利益に与える影響は軽微であります。